ノーサイド

北原　巌男

「コロナですね！」

「エッ・・・・・」

主治医の言葉は、僕を奈落の底へ突き落しました。

思えばコロナまん延時、本紙・本欄でも、隊員の皆さんやご家族、本紙読者の皆さんに、感染防止を何度も呼びかけて来ました。それでも感染者は激増。亡くなる方も多く、怖かったです。

30歳から寺小屋的予備校の名物講師を務め、身体を壊すことなど全く考えず全魂投入で授業や生徒対応、全国の高校を飛び回っていた高校時代の級友「教え子たちの多くは、無名でも真に気高い人間に育ってくれた」と嬉しそうに語っていた彼がコロナに感染。あっという間に命を落としてしまいました。（２０２１年８月15日付け本欄「心に火を点けた教師」）あれだけ元気だった彼、教え子たちに心から慕われていた彼の、あまりにもあっけない最期に愕然としました。

ところが、その後２０２３年５月８日から、「法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的取組をベースとした対応に変わります。」（厚生労働省ＨＰ）として、恐怖の新型コロナウイルス感染症は、これまでの「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる２類相当）」から「５類感染症」になりました。

２類から５類になった理由や背景等は僕には良く分かりませんが、５類になってからは、気のせいかテレビでもコロナの感染状況についてはほとんど報じられなくなりました。大騒ぎして何度も受けて来たワクチン接種やその後開発された薬の効果もあるのでしょうか。僕の緊張の糸は解き放たれました。

僕は思いました。「あれだけ言われて来た三密回避や手洗い・マスク着用も、これからは国民各自の判断に任せるということは、コロナはもはや怖い病気ではない。そもそも、コロナまん延の真っ只中でもかからなかった。大丈夫だ。」

・・・甘く見ていました。・・・全く油断していました。思い上がっていました。

油断

猛烈な喉の痛みに襲われたのです。そんな状況にかぎって唾がどこからこんなに湧いて出てくるのか。外に出すだけでは収まらない。唾をのみこまざるを得ない。その時の痛さといったらない。無情にも真っ赤な焼き火箸で突き刺され、焼きただれる激痛が走る。もうだめだ。せき込む。息が出来なくなるほど。閉じた目からは無念の涙。両方の耳の奥までが痛くなる。後悔。少しでも眠らなければ・・・

これまで、風邪や体調の悪い時の僕の訴えは、いつも大げさに過ぎるとして家人から疎んぜられ、常に斜めに見られて来ました。しかし今回は、これまでかかった風邪とは明らかに異なります。決して大げさではないのです・・・この苦しみを少しでも分かってもらいたい、でも適切な語彙を見出すことが出来ない、もどかしさに痛みが更に勢いづく・・・

少なからず入れていた予定はキャンセル。「さくらサイエンスプログラム」で来日中の東ティモールの高校生達と日本の工業高等専門学校の生徒達とのフォーラムも、急遽参加を辞退。どうしてもキャンセルが難しい事案は、家人が単独代行。（東奔西走のため、玄関を飛び出して行く後ろ姿には、頭が下がりました。）

主治医が勧める「ラゲブリオ」という特効薬を始め処方して頂いた沢山の薬を、すがる思いで飲み続け、ようやく回復しました。

あまり表には出ていないかもしれませんが、今もコロナ感染者は確実に拡大しているのです。ウイルスは、あなたを狙っています。

同じ頃、僕とそっくりな症状を体験された日本経済新聞の編集子が書いています。

「油断していた。・・・つばをのみこもうとするだけでガラス片が突き刺さったかのような激しい痛みが走る。咽頭が血まみれになった絵が頭に浮かぶ。・・・苦しくて眠れない夜の朦朧とした意識にコロナ禍に流行した言葉たちが浮かんでは消える。・・・我々はコロナに克つことを諦め、共に歩む道を選んだのだ。感染者数や死者数の発表を減らし病の広がりは見えにくくなった。だが、消えたわけではない。ウイルスの脅威と強（したた）かさを身をもって思い知った。自然を侮ってはいけない。」（２０２４年２月12日付け同紙「春秋」欄）

３月を迎えました。ウクライナ、ガザ、能登半島等、世の中は激しく動いています。５日は、大注目の米大統領選予備選スーパーチューズデー。11日は、あの東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から13年。そして極北の刑務所に収監されていた反体制派指導者ナワリヌイ氏（47歳）が突然不審死したロシアの大統領選は、17日。

自衛隊員・ご家族の皆さん、本紙読者の皆さんも、公私ともに慌ただしく忙しい年度末と思います。

コロナによる安易な奇襲攻撃を許さない緊張感と抑止力を以て、国内外の動きを注視し、新年度から始まる任務や生活等への覚悟・準備に油断のない取り組みを続けて行ってください。

……

北原　巌男（きたはらいわお）　元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現日本東ティモール協会会長。（公社）隊友会理事